



平成 29 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社ホテル、ニューグランド
代表者名 代表取締役社長 濱田 賢治
(J A S D A Q コード 9720)
問合せ先 取締役経理部長 岸 晴記
電話番号 045-681-1841

剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年 2 月 23 日に開催予定の第 139 回定時株主総会に剰余金の処分について付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、平成 28 年 12 月 22 日付で同日開催の取締役会において平成 29 年 2 月 23 日開催予定の第 139 回定時株主総会に利益準備金及び資本準備金の額の減少について付議することを決議することをお知らせ済みであります。

詳細につきましては、平成 28 年 12 月 22 日付開示資料「利益準備金及び資本準備金の額の減少に関するお知らせ」をご参照下さい。

記

1. 剰余金の処分の目的

- (1) 過去の損失により生じた欠損を補填し、早期に配当可能額を確保し配当を実現するため。
- (2) 今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保するため。

2. 剰余金の処分の内容

(1) その他資本剰余金の処分

会社法第 452 条の規定に基づき、平成 28 年 12 月 22 日付開示資料「利益準備金及び資本準備金の額の減少に関するお知らせ」に記載している資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、そこで減少する資本準備金の額 (2,463,010,194 円) をその他資本剰余金に振り替えることで増加した後のその他資本剰余金 (2,463,010,194 円) の一部 (413,638,927 円) を減少し、損失の補填に充てるため、繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

- ① 減少するその他資本剰余金の額 413,638,927 円
- ② 増加する繰越利益剰余金の額 413,638,927 円

(2) 利益剰余金の処分

会社法第 452 条の規定に基づき、買換資産圧縮積立金を損失の補填に充てるため、繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

- ① 減少する利益剰余金の項目及びその額
買換資産圧縮積立金 401,280,055 円
- ② 増加する利益剰余金の項目及びその額
繰越利益剰余金 401,280,055 円

(3) 剰余金の処分が効力を生ずる日

平成 29 年 2 月 23 日

3. 今後の日程 (予定)

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成 29 年 1 月 23 日 |
| (2) 定時株主総会決議日 | 平成 29 年 2 月 23 日 |
| (3) 効力発生日 | 平成 29 年 2 月 23 日 |

(単位：円)

	処分前残高	増加額	減少額	処分後残高
利益準備金	66,144,000	—	66,144,000	0
資本準備金	3,363,010,194		2,463,010,194	900,000,000
その他資本剰余金	0	2,463,010,194	413,638,927	2,049,371,267
買換資産圧縮積立金	401,280,055	—	401,280,055	0
繰越利益剰余金	△881,062,982	881,062,982	—	0

4. 損失の補填のために繰越利益剰余金に振り替える金額

損失の補填のために繰越利益剰余金に振り替える金額は 881,062,982 円となります。この結果、その他資本剰余金は 2,049,371,267 円になり、繰越利益剰余金は 0 円となります。

以 上